



溝／口に集う人々



令和2年（2020年）12月5日

川崎市・日本地名研究所



橘樹郡民権運動の最高指導者
上田忠一郎

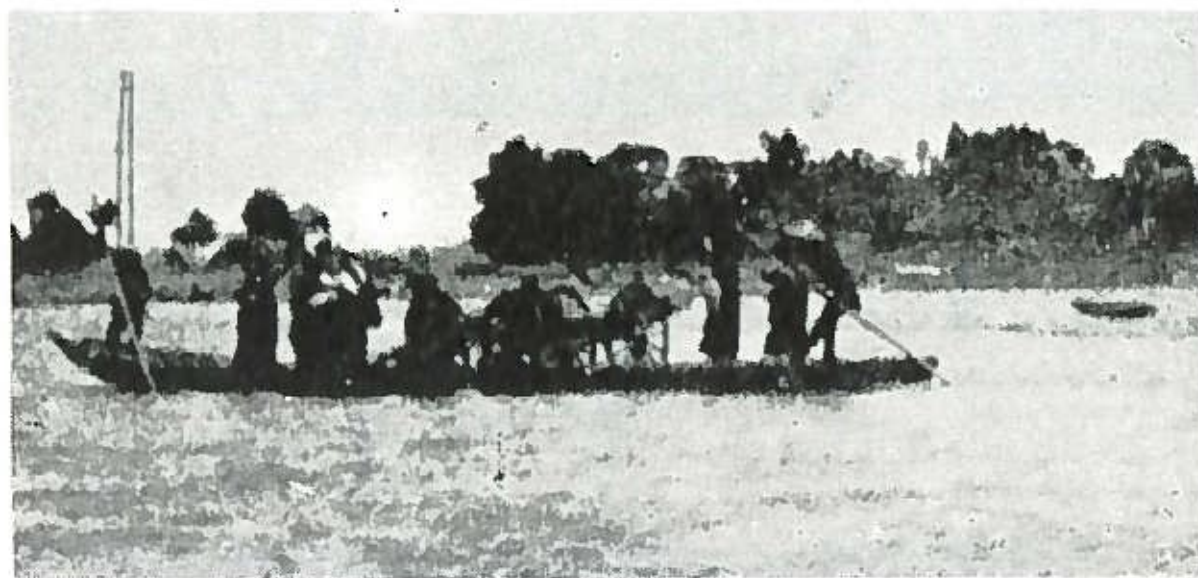
溝ノ口という町



矢倉沢往還（大山街道）

- 脇往還に指定（寛文9年・1669年）
- 継立村（問屋兼宿舎） 丸屋（溝ノ口）・大和屋（二子）
- 助郷 二子村…久地村、諏訪河原村、久本村、末長村
- 溝ノ口村…北見方村・上作延村・下作延村
- 二子の渡し場

丸屋と二子の渡し場



荷車をつんで渡る渡し船(大正時代)

- 卸問屋、御用商人、油絞め屋、醤油醸造…江戸の後背地
- 大山詣…信仰の道
- 鮎かつぎ道…鮎かつぎ唄・中継地
- 旅籠屋…溝ノ口亀屋、梅鶴、湯屋半、村田屋、小松屋
- 二子亀屋、扇屋
- 船遊び

大山街道



旅人たちが泊った二子の亀屋



溝口寄場組合村

- 文政10年（1827）溝口寄場組合村ができる
- 溝口に組合役所が置かれる
- 周辺61ヵ村 稲毛領56ヵ村、府中領中野島村・矢ノ口村
- 神奈川領箕輪村、都筑郡石川村・荏田村
- 溝口寄場役人のもと、五人の大惣代と13人の小惣代で編成
- 諏訪河原村・久地村・高石村・上小田中村・駒ヶ橋村
- 寄場組合役所→溝口巡查屯所→高津警察署、郵便取扱所

高津交差点付近



蘭方医太田良海・東海

- 太田道一 「良海」と号す 伊予四条松平家の侍医
- 太田資啓 「東海」と号す
- 「お玉ガ池種痘所」蘭方医83名の一人
- 種痘を村民に接種し、多くの人々に知られることとなる
- 良海の妹は、手塚良仙光照に嫁ぎ、数代後に手塚治虫が生れる
- 東海の娘アイは、濱田久三に嫁ぎ、濱田庄司が生れる

片町・太田医院跡

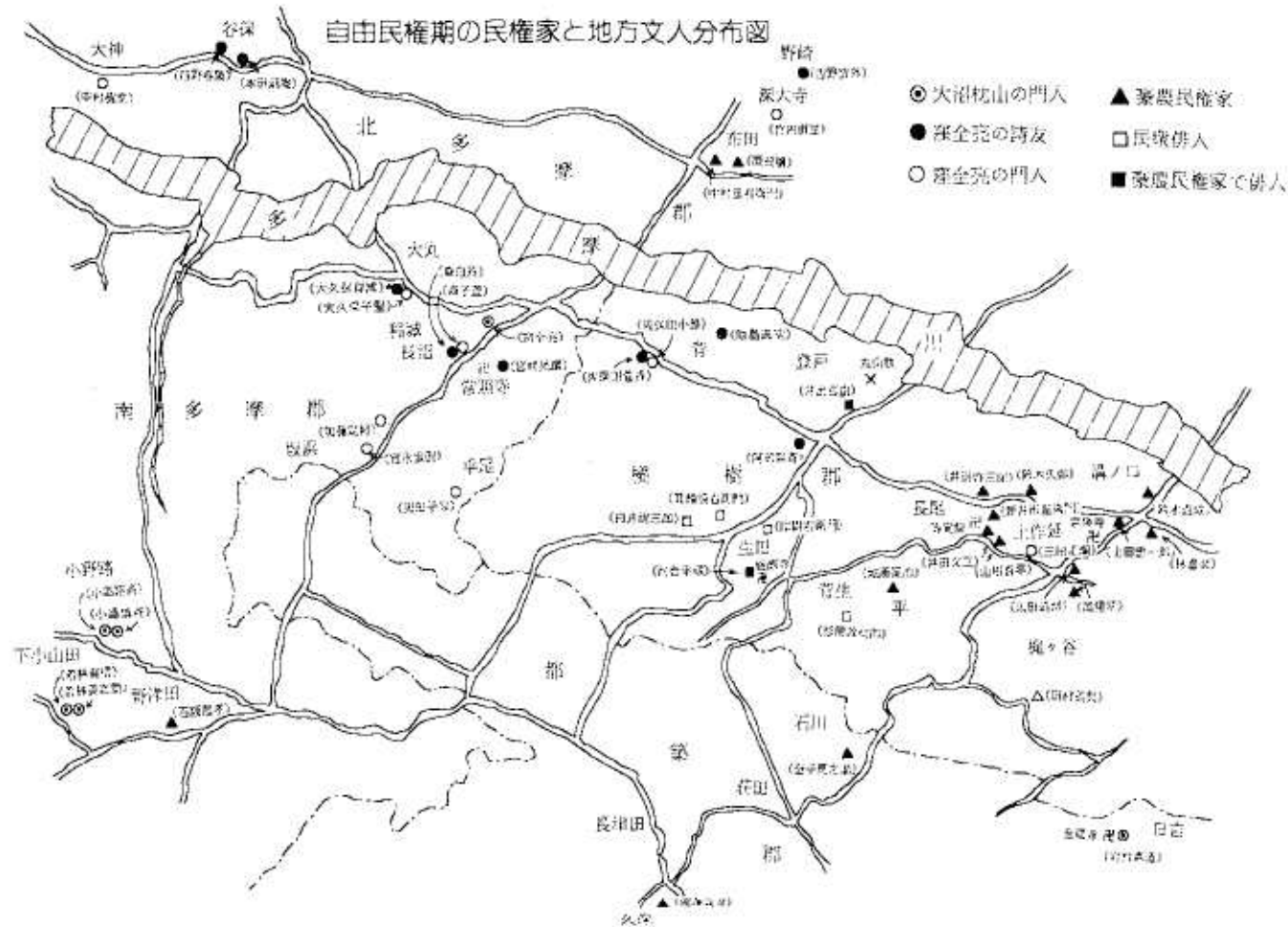


明治のあけぼの

- 自由民権運動に参加した人々
- 上田忠一郎 上田サロンに集う人々
- 鈴木直政（油田中）
- 鈴木全象（大和屋）
- 岡 重孝（岡医院）
- 太田道博（太田医院）
- 長尾村 鈴木久弥・井田文三
- 生田村 河合平蔵
- 野津田村 石阪昌孝 など



自由民権期の民権家と地方文人分布



高津という名前

- 初代村長 岡重孝 助役 鈴木全象
- 太田道博、小黒伝八

- 岡家6代目 重孝 医者、
- 7代目 信一 医者、橘樹郡医師会会長
- 8代目 道孝 医者、画家、写真、コレクター、民藝運動
- 弟 栄一 医者、俳人、橘樹考古学会主宰
- 9代目 信孝 画家 妻は濱田庄司娘比呂

久本薬医門公園



芸術文化に集う

- 岡本かの子と大貫雪之助（晶川）、大貫喜久三
- 濱田庄司と橋本邦三、木村荘八
- 民藝運動 柳宗悦、バーナード・リーチ、棟方志功
- 岡 道孝、内藤慶三
- 村落劇場 上田久七

大貫病院と濱田庄司の碑



忘れえぬ人々

- 国木田独歩 『武蔵野』 『忘れえぬ人々』
- 田山花袋、柳田国男
- 佐藤惣之助、小倉緑村
- 島崎藤村 「国木田独歩碑」

国木田独歩碑と賛助者名



溝ノ口の栄枯盛衰

- 大山街道沿いの商家
- 田中屋 油田中、呉服の田中屋、秤の田中屋、写真のたなかや
- 灰吹屋薬種店（灰吹屋薬局）
- 稲毛屋
- 溝ノ口亀屋
- 岩崎酒店（糴屋ホール）
- 島崎書店 島崎文教堂（文教堂チェーン）

はかりの田中屋と蔵造りの灰吹屋



高津銀行

- 明治32年 高津銀行創業
- 発起人（頭取）鈴木清助（油田中）
- 共同経営者 小川安蔵、武笠政右衛門
- 監査役 大貫寅吉、太田資啓
- 明治33年 勝田支店開業

- 大正2年 倒産廃業
- 油田中は全ての財産を処分。大貫家・太田家も多くの資産を失う

呉服の田中屋と高津図書館前庭



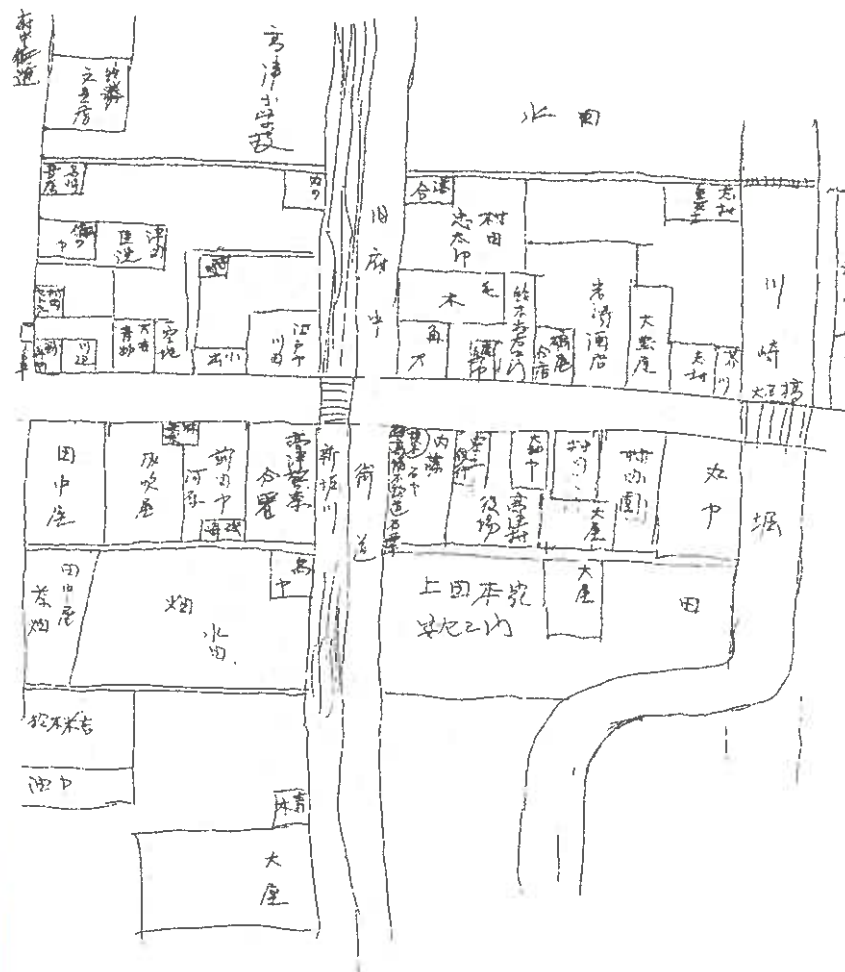
二子神社付近

- 二子神社は昔は神明社といった
- 明治に、神明社に大六天社と稲荷社を合祀して「二子神社」となる
- 左奥の出世稲荷は、大正時代に「二子三業地」ができてからのもの
- 岡本太郎が建てた碑が建つ。昭和37年に「岡本かの子文学碑『誇り』」が建つ

船遊びと二子三業組合

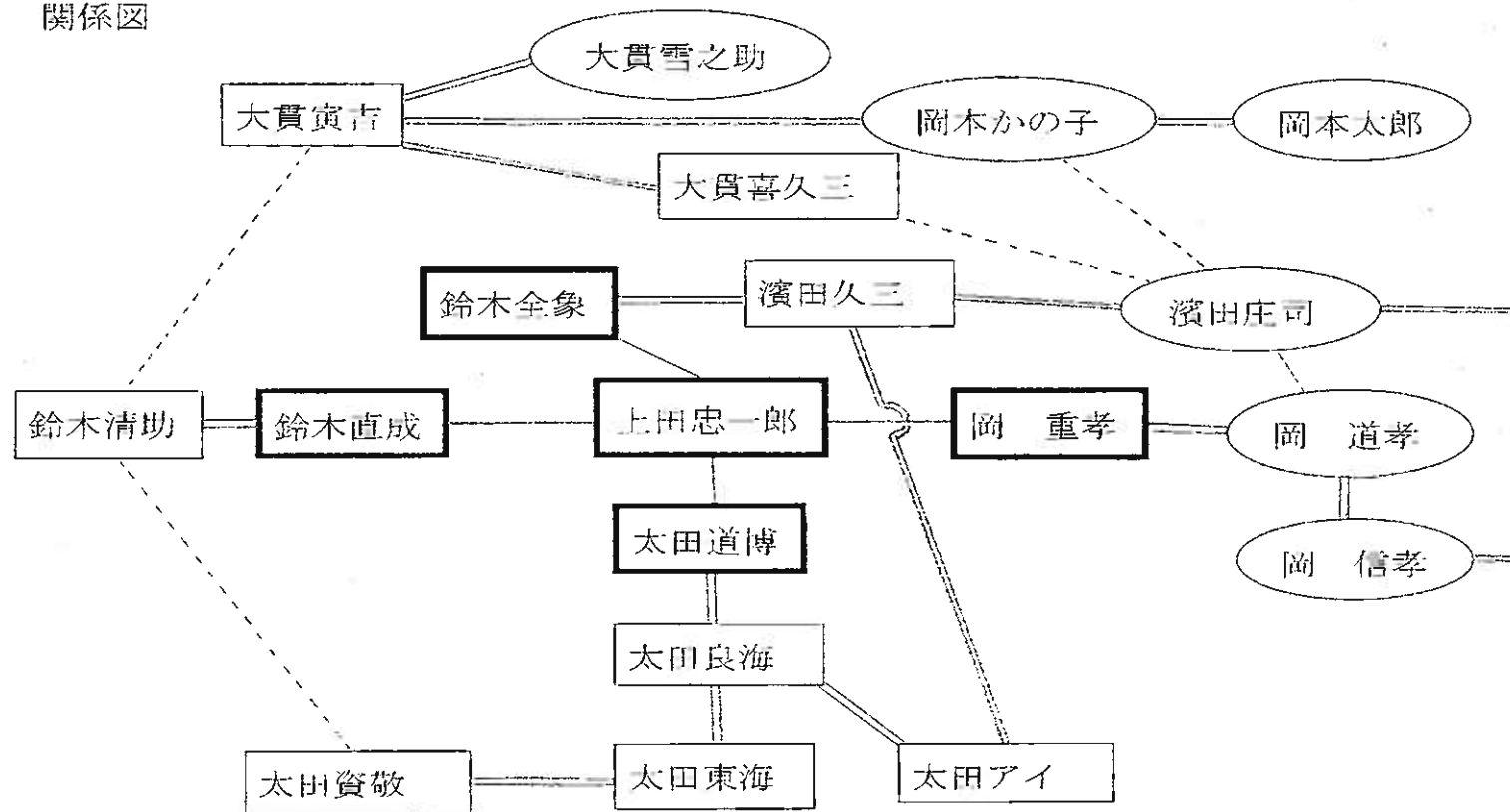


高津小学校高等科1年
(鈴木清一筆)



溝ノ口に集う人々

関係図



終わり